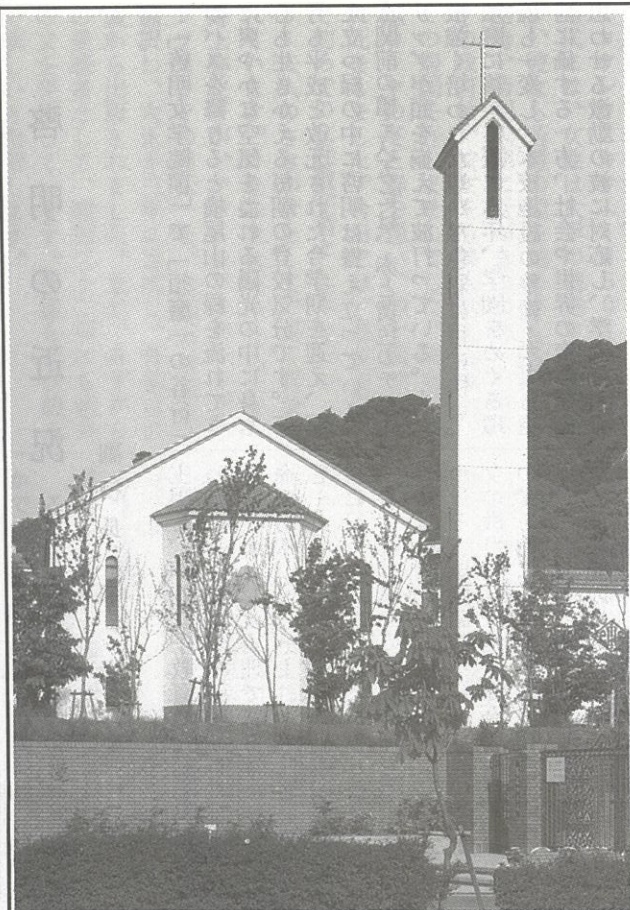




金星

No. 4

発行

神戸市須磨区横尾9丁目
5番1号
TEL 741-1501 (代)
啓明女学院内
金星会

母校「啓明」に イサカ 弥栄！

同窓会長 渡邊 カナコ



会員の皆様、お久しぶりですがお元気でいらっしゃいますか。それぞれ、生業に勉強にお励みの事とお喜び申し上げます。同窓会報「金星」No.3を発行して以来、はや三年半の年月が流れました。ここに「金星」No.4を、あなたのひとときこのころのアシスとなることを願ってお届けいたします。

さて、母校は本年中高生徒数合わせて一七九〇名となり、名実共に益々発展の一路を歩んでおり私達卒業生にとりましては嬉しい限りでございます。金星会会員数も一万六百余名に達し、同窓会館建設を希望する声もあがっており検討中でございます。もし実現の運びとなりますと、この頃にはご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆さま。同窓会の栄える学校は繁栄すると申します。特に若い会員の皆様の力に期待しております。あなたの「愛」と「知」と「力」を、母校に、「金星会」のお力添えをお願いいたします。

私達は、ミッションスクール啓明に学んで本当に幸せである、と思います。私達は神の存在とその無限の愛を知らされました。啓明で培われた無形の精神教育が、私達の生き方、人生に大きく影響しております。「金星会」のメンバーが、その生き方の源「愛」と「誠」でもって世の光りとなり、その名の如く輝き、相互に堅い絆で強く結ばれ、光の輪となつて広がっていくことをねがっております。それでは十月二十一日の総会でお会い出来るのを楽しみにしております。

Alumnae News

Keimei has 1,790 students. This is 70 less than last year. In the next fifteen years we will see a decline in students all over Japan. I am confident we will survive with a smaller enrollment. Keimei is now planning on improving what we offer each student in facilities and faculty. Soon we will have more space for special classes and studies.

We still owe some money on our move but this is well under control. However, it is now almost seven years since moving from downtown and it is time we began thinking about major building changes like painting all the buildings and making some building changes. we continue to seek alumnae support in sending us good students. I promise we will give them the best education possible.

Keimei continues to grow in spirit and direction. We had 203 graduates go on to colleges and universities plus another 9 going to foreign countries for further study. All were from this year's graduation. How many others from other years, I do not know. Also, we placed everyone who wanted to work. Keimei has a good reputation among Kobe's companies and offices.

Everywhere I meet new people who tell me how Keimei is such a good school. Also, I am very proud of the many fine graduates who are helping Japan become a better nation. Together, we can build a better world.

Mona Saito

私の心からなる願い



昨春啓明女学院のベテラン聖書科の先生が急に辞任されるということで、理事でありながら聖書科非常勤講師として週一日ではありましたが、私に啓明での働き場が与えられました。日毎に重責を感じ、腰をすえて啓明のあるべき姿を求めつつ、与えられた任務に懸命にお仕えした一年でした。このような不思議な神の導きの中でとくに私の求めた課題は、啓明の伝統の継承でした。

今日の文明の特色はものごとを数値で表わす傾向の強さにあると思います。日本の教育で問題となるのはこのような数値信仰に基づく「競争」にあると思います。過熱化された競争心、偏差値がものをいう画一主義、本来的教育の喪失、最も大切な人間の生命の尊厳と畏敬の欠如等が訴えられています。啓明も決して埒外ではありません。

私が現在教師として仕えております芦屋山手教会は一九二三年に設立されました。啓明がバルモア学院の女子部から、婦人宣教師C.G.ハランド先生を初代院長としてキリスト教の精神を基盤とする女子の英語専門学校に独立していったのが、同じ一九二三年でした。神戸栄光教会が現会堂の礎を築き完成をみたのは一九二二年、二四年でした。これら一連の働きには共通の背景がありました。それはアメリカのメソジスト教会にはじまり、一九一九年には日本メソジスト教会も参加して世界の諸教会に波及していった、福音伝播のための宣教師活動「大運動」でした。この運動の中で、世界の諸教会の祈りと奉仕に支えられながら、啓明は独立し、神戸栄光教会は現会堂を建て、芦屋山手教会は設立されました。

そして特に目玉と覚えられますことは、芦屋山手教会創設時の初代牧師の窪田学三先生が、啓明の初代院長ハランド先生を継いで二代目院長となられたことです。十八年にわたり啓明の土台づくりをされ、太平洋戦争によりやむなく帰国されたハランド先生の志を継ぎ、戦争により廃校寸前にまで追い詰められた啓明の危機にあって院長の重責をになられた窪田先生の働きに注目するのです。啓明の伝統は神のみ旨によって用いられたこれら先生方によって形成されていったということです。「キリスト教精神を基盤とした人間形成を目指し、英語を中心教科とすることによって国際的視野を養い、実

啓明には、現在一七九〇名の生徒がいます。昨年よりも七〇名少なくなっています。来る十五年の間は、日本中で生徒数が減少していきます。しかし、生徒数は減っても、啓明は生き残っていくと私は確信しています。

啓明では、今、一人一人の生徒のために、施設や教師陣のさらなる充実を計画しています。間もなく、特別教室や学習のために、より広いスペースが使えるようになるでしょう。

移転に際しての借金がまだいくらか残っていますが、返済は順調です。しかし、市街地から移転して約七年になり、外壁のぬりかえや改築など、建物に関して大きな工事をした方がよい時期になってきました。よい生徒を私達におくっていただけのように、引き続き、同窓会の皆様の御支援をお願いします。生徒達には、最

高の教育をすることを約束します。

啓明は、精神においても、方針においても成長しつづけています。二〇三名の卒業生が大学、短大へ進み、さらに勉強を深めるため、九人が海外へ行きました。彼女らはすべて、今年の卒業生達です。他年度卒業生の留学状況などは、現在のところ、わかっていません。また、就職希望者も、全員が就職できました。啓明は、神戸の企業や会社で、よい評判を得ています。

至る所で、啓明が素晴らしい学校だと言ってくれる人々に出会います。また、私は、日本をよりよい国にしていこうと努めることになっている多くの素晴らしい卒業生のことも、たいへん誇りに思っています。力を合わせれば、もっとよい世の中が作れるはずで

私は現在教師として仕えております芦屋山手教会は一九二三年に設立されました。啓明がバルモア学院の女子部から、婦人宣教師C.G.ハランド先生を初代院長としてキリスト教の精神を基盤とする女子の英語専門学校に独立していったのが、同じ一九二三年でした。神戸栄光教会が現会堂の礎を築き完成をみたのは一九二二年、二四年でした。これら一連の働きには共通の背景がありました。それはアメリカのメソジスト教会にはじまり、一九一九年には日本メソジスト教会も参加して世界の諸教会に波及していった、福音伝播のための宣教師活動「大運動」でした。この運動の中で、世界の諸教会の祈りと奉仕に支えられながら、啓明は独立し、神戸栄光教会は現会堂を建て、芦屋山手教会は設立されました。

体づくりには仕事する＝ギャレックス

Galax

• 各種トレジャツ・トレパン
• 各クラブユニホーム
• スポーツ用品全般

スポーツマンの
心をとらえる
ユニホーム

西井ギャレックス株式会社
神戸市北区若葉台3-3-13
電話 (078) 592-7805

啓明の近況

副校長 中山 武男

「啓明女学院前」で「須磨一の谷行」のバスを降りると横尾山の緑の流れてきた爽やかな空気を浴びる陽光の中に身も心も生きかえる毎朝の登校気分です。年号も平成と改元された今学期を迎え、萌え立つ緑の中に啓明は聳え立っている。玄關前の植え込みには、赤と黄色のチューリップが頭を揃えて波打っている。土に根強く培われた豊かな色彩は目に快い。須磨に移って既に六年、学園をめぐる環境も一変し、本校施設の整備・充実も瞳目に価する一方、社会や世界の変革期を思わせる激動の波に対応し、学園は順調に発展して来ている。

受験者数は三千名台より四千五百名と躍進し、入学者数も四百名から五百名と増加しましたが、高校生徒の急増期は、六十三年度で終結し、平成元年度以降は急減期に入る。私学の存在価値を世に問う時代に移る。恰も二十一世紀に入る前時代の変革、激動、混沌の現代時代に対応するに、ここに建学の精神を堅持し、自ら清潔で生きた相互愛、協力一致、奉仕の精神を光として世に輝かす教育を近況報告を終わります。

心深く耕す他方、そのように、この学院の周囲、校地内、土壌を改良し、全体緑化の構想を進めている。植樹の主なものを列挙する。
銀杏五、榎二、山桃三、金木犀三、桜四十二、さつき五百六十四、楠三、アカシヤ二十、シャリンバイ多数、花木二十一、泰山木一、メタセコイヤ三、沈丁花百、山茶花二十二、雪柳百、シモツケ百。(管理人 金田氏調べ)



サイトウ院長ご結婚

昭和六十三年七月十七日、母校チャペルに於いて、モースサイトウ院長が、白山利枝さんと結婚式を挙げられた。花嫁は、親和女子高等学校を卒業、神戸外大に進み同大学院修士課程を終了後、啓明女学院の英語科の教師として就職、爾来五年になり、ご結婚後も引き続き教鞭を取っておられる。

どうぞ母校へ

教頭 津田 實



六十二年四月から勤務し、三度目の夏を迎えました。金星会の皆さんどうぞよろしくおねがいいたします。着任直後の学院報に、「……この素晴らしい学校に勤務できることを大変うれしく思うと共に、良い学校とは環境や施設だけでなく、そこで優れた教育が行われ立派な生徒が育つこと……」と述べました。二年半を経過したいまも全く同じ気持ちです。啓明女学院は素晴らしい学校です。皆さんがよくご承知の通りチャペル礼拝があります。六百人は収容できる立派なチャペルで、学年ごとに週二回実施しています。六月下旬は、甲南学園理事長の久保田淳一先生が「友情」で高一に、また神戸栄光教会牧師の北村宗次先生が「おしえと歌」で高一にご説教下さいました。豊かな人生経験を踏まえ、深い信仰に基づいたお話をわかり易く諄々と説かれました。本堂にありがたきこと。生徒達は聖書にある愛を十分身につけ、心やさしい女性に成長してくれることでしょう。

すばらしい自分のちから

総務部長 細見 英太郎



花屋さんの店先には四季折々の花が何時でも色とりどりに美しく咲きそわっている。これはみんな人間が世話をしている。咲かせたものである。温室栽培のものもあれば、品種改良されたもの、遠く外国から飛行機で運ばれてきたものもある。みんな美しい人の心をなぐさめてくれる。ところが、野原で何げなく見かけるタンポポ、山ハダに自生する白ユリ、田んぼの畦道にゆれる真っ赤な彼岸花、谷間で清らかな香りをただよわす梅の花、これらは花屋さんで見る花とひと味違う美しさをもっている。しかも、人間に見せためではなく、誰にも世話をしてもらわ

一方、彼女達はやさしさだけを身につけているのではありません。部活動などで苦しくとも励むときには励み、よく耐えてがんばり、その成果を競う大会では素晴らしい活躍をしてくれいます。例えば、本年度高校総体ではバドミントン、剣道、陸上競技が激戦の神戸地区で勝ち抜き、それぞれ西宮市、赤穂市、明石市での県大会に出場、よく奮闘し、啓明の名を全県に高めてくれました。また、文化部門でも、放送部がNHK全国コンテストのラジオ部門で神戸地区代表に選ばれ、県大会で作品審査を受けました。

啓明女学院学院祭

日時・9月23日(土) 10:30時
場所・啓明女学院
ぜひ御来校ください

なことに自分で見つけられないことや、自分の力を正しく使わないこともある。このあたりが私共の最も心得ねばならないところである。

一人ひとりを大切にという言葉は、まさしく生徒一人、ひとりの開花時期の違いをわきままえ、気長に見守り励ますことである。そうして個々のすばらしい力を自分で気付かせ(教え)、その力を充実するため訓練(育てる)することが大切である。

師道四十年余りを迎えた今、私自身が自分の力を知り、ごく当たり前のことをやったと言えるようになったところでもある。実にはずかしい限りだ。同窓生姉妹の過ぎた日の美徳(六年、又は三年間)が、こんど、美しい花となって心静かに咲き誇ること祈るやせつに:

啓明は「生田遺跡」の上にあった

祢津 茂実 先生



ビルの谷間にロマンチックなホテル建設予定地に古墳時代の有力豪族の住居跡とみられる遺跡があったと、一月二十九日朝刊で報道された。早速三十一日、神戸市教委発掘調査による見学説明会に行ってみると、まさに啓明女学院南校舎移転の跡(中央区下山手通)である。そうすると、啓明が、昭和三十五年南北校舎併設してから新校舎に移転する二十三年間約六千名の卒業生が、地下〇・五〜一・五メートルの古墳時代遺跡の上で学び、運動していたことになる。五世紀前半〜六世紀初め、生田神社の東側の旧生田川沿い標高十四米前後の緩やかな斜面の沖積地の高

〔過去3年間の進路状況〕

大 学		大		職	
英 知	7	京都外国語	1	大阪青山	5
神戸薬学	1	同志社女子	1	大阪学院	1
大手前女子	26	日本ルーテル神学	1	大阪音楽	7
関西学院	4	青山学院	1	大阪薫英女子	3
甲 子 園	2	創 価 会	1	大阪信愛女学院	1
甲 南	2	二松学舎	1	大阪成蹊女子	7
甲南女子	11	東京女子体育	1	関西外国語	2
神戸海星女子	7	神奈川歯科	1	聖母被昇天学女	1
神戸学院	3	松本歯科	1	関西女子美術	2
神戸女子	19	武蔵野美術	1	金 蘭	3
松蔭女子学院	4	中 東	1	相愛女子	2
親和女子	17	短	3	帝国女子	4
聖 和	6	明 石	21	浪 速	1
園田学園女子	7	芦屋女子	4	PL学園女子	2
宝塚造形	2	大手前女子	26	帝 塚 山	3
姫路独協	4	関西女学院	18	京都芸術	1
武庫川女子	6	賢明女子学院	3	池 坊	1
流通科学	1	甲 子 園	23	嵯峨美術	7
神戸市立外国語(Ⅱ部)	1	甲南女子	1	奈良文化女子	1
大阪学院	1	神戸海星女子	3	宝仙学園	1
大阪経済法科	1	神戸学院女子	13	創価女子	1
大阪樟蔭女子	1	神戸女子	11	日本女子衛生	1
大阪芸術	7	神戸常盤	3	青山学院女子	1
大阪産業	1	神戸山手女子	41	土 浦	1
追手門学院	2	聖 和	20	下関女子	1
関 西	2	頌 栄	10	長崎ウエスレヤン	1
関西外国語	2	鉄 鋼	1	香 蘭	1
近 畿	4	夙川学院	35		
帝塚山学院	2	松蔭女子学院	11		
相 愛	3	園田学園女子	3		
梅花女子	11	日ノ本学園	5		
桃山学院	9	姫路学園女子	29		
京都学院	1	兵庫女子	26		
ノートルダム女子	1	湊川女子	35		
京都市立芸術	1	武庫川女子	15		

なつかしい先生方より

佐野美智子先生

横尾キャンパスに移転以来、六年目、木の種類も徐々に増え、訪れる野鳥も早春のヒバリにはじまり、メジロ、ウグイス、セキレイ、ジョウビタキ、ツグミ、モズ、カケス等々。花壇にもチューリップ、パンジー、さつき、サルビア、菊と四季折々の花が咲き誇っています。最近二代目の登場が多く、なつかしいお顔が保護者としてみえるのがうれしい限りです。皆様も是非一度お訪ね下さい。

林 貞子先生

同窓生の皆様お元気でしょうか。皆様各々学校、職場、家庭にて、ご活躍の事と存じます。私も早いもので啓明にお世話になり二十六年になり、老いの身に鞭打ってまだまだ頑張っております。又みなさんにお会いしたいと思っております。

退職された先生より一言

八杉 貞子先生

去る三月末に私は退職しました。その後またまた読んで強い感銘を受けた本を紹介して「卒業生へのひとこと」に代えます。

『コワレフスカヤの生涯』

ワロンツォワ著 東京図書

コワレフスカヤ(1850-1891)

時代には、女性に大学の聴講さえ許されず、彼女も苦難の道を辿りました。

当時、帝制末期に近づきつつあったロシアの政府は、彼女を危険人物と見做し、その帰国を許しませんでした。彼女は祖国ロシアの冬と春を想い、四十歳で焦がれ死をしました。今日では、彼女は世界で初めての女性数学者として、又、キューリー夫人のさきがけとして、高く評価されています。コワレフスカヤについて、野上弥生子が、アン・レフラーの「コヴァレフスカヤの自伝」を、初期の青鞥に、翻訳し、大正十三年に完成し、作品は岩波から出版されました。また、みづから愛読書として、昭和二十二年にも紹介の文を発表しています。皆様もぜひ読んで欲しいと希望します。

楠本 節先生

啓明女学院卒業生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。

私は、昭和五十一年から十三年間、啓明女学院の聖書科教師として、勤めさせていただきました。本年三月末を以て定年退職いたしました。その前二年間は、関学神学部、大学院に学び、非常勤講師として聖書の授業や、チャペルで、当時の生徒さん達には、御目にかかったと思います。十五年と言え、長い間ですが、今振り返ると、全くあっという間の短いもののように感じられます。自分の娘のいない私にとっては、現代っ子の中高生を学び、知るよい機会でした。聖書の授業は、一週間に一時間しかないので、実に多くの約七千人の生徒さんに「聖書の心」を教えたことになりました。しかし、学校教育での聖書の授業は、一つの知識として授けられた人ばかりで、何となく知られるのでした。この事をふまえて、定年退職を機に私は一つの決断を致しました。

現在、私が両親から受け継いだ家を、増改築して、チャペルを建設する予定です。本年十一月十二日(日)に、献堂式を行います。啓明女学院の卒業生や生徒さん達と共に、日曜毎に聖日礼拝ができる日を築き上げていきます。

原谷 勉先生

皆さん、お変わりございませんか。

二十二年間お世話になった啓明を辞し、早一年が経過しました。現在は、茨城県にある「茨城キリスト教短期大学」に単身で赴任しています。

同じ陸続きとはいえ、神戸から遙か離れて、啓明時代を懐かしく思っています。時には啓明での過ぎし日が夢に出てきたり、うっかり「うちの学校では」と言ってしまうたりと、この細身に焼き付いた想い出は消えるものではありません。

今夏には、長年の夢とも言えるべき旅(ポーランドのアウシュヴィッツ強制収容所やオランダのアムステルダム、フランクの隠れ家などを訪ねて)を予定しています。かの地に立って、「人間とは何者か」ともう一度問い直して、自らの生きようを考えてみたいと思っています。

こちらの学生たちは、のどかでさわやかです。近くへお越しの際には、ぜひ当

短大チャペルまでお立寄り下さい。皆様のご多幸を祈ります。

現住所：茨城県日立市大みか町

みかの原コーポ三〇七号

TEL(0294)531-9712

井上 昌代先生

この三月で啓明を退職し、大学の聴講生となりました。二十一年の啓明生活で出会った多くの生徒や先生方との楽しい日々は忘れ難く、結婚、育児と私の人生の最も充実した年月でした。卒業と同時に社会に出、家庭に入ってしまう生徒達にこそこんなことを学んで欲しいーやがて母になり子どもを育て社会をかえしていくのだからー、と若い頃の私はがむしゃらに自分の思いを語り、育児のしんどさをさらけ出しながら生徒にぶつかってききました。一番身近にいる先輩として仕事に生活にまじめに取り組む姿を見せることが、きっと今後の生徒の何かになるのではないかとこの自負心私の支えともなっていました。

今、大学で再び学びながら、自分らしい視点をもって新しい道を切りひらいてゆければと願っています。若い皆さんの今後を期待しております。

母校クラブ紹介

十年ぶりに見る逸材

(陸上競技部) 顧問 国宝隆司先生

陸上競技部が啓明にできて満十年になります。十年前に、猫のひたい程のグランドで何が出来るだろうかと考えさせられたものでした。しかし、生徒達の陸上部というところに対する熱意が当時生徒会であった故松井先生を動かしたので

す。ちなみに、最初に生徒から話をもち掛けられた私です。無理ではないかと思っただけです。このような状況の中、啓明の陸上競技というものが始まったのです。当初、十数名の部員の中に私の目を引く生徒が数名いました。この子達をなんとかしなければと思い、一年間休むことを忘れるぐらい練習をし、神戸市一位、兵庫県五位と年々、次から次へと記録を伸ばし、県下の注目を浴びることになりました。その当時の生徒達は、現在結婚し、一人は東京、一人は広島、一人はオックスフォードの選手

の奥様、二人は神戸で、それぞれ子育て中で頑張っています。

その時以来、当時を上回るであろう最高の逸材である生徒が、今年二月に卒業しました。三年前、私のよく知っている先生が当時友が丘中学校に勤務されていた。その先生にオックスフォードの選手のお話を聞いてもらって、結婚式でお会いしたときに、陸上でいい子はいませんかと話したことが実現されて、啓明に来ることになった裏話があります。

殆どの先生又は生徒達が彼女の名前を知っていると思いますが、在学していた三年間、大変よく頑張った啓明の名を大きく県下に轟かせてくれた、恒藤淳子さんです。彼女が高校三年生で競技を終え卒業するまでに、どれくらいの結果を出せるか不安が先走りしました。彼女は中学時、走高跳で、1m57cmというベスト記録を持っていた。県下でベスト10に入っていた。しかし、指導する方がプレッシャーに負けてはいけないうえ、色々と勉強したり、あちらこちらの先生、指導者に練習方法その他を聞いたり、練習会に生徒を参加させたり、あるいは、県の選抜講習会等に高体連強化部より出場依頼があったり、目まぐるしいスケジュールの中、あつという間の三年間でした。その結果、競技会では、毎回一位か二位、しかも、神戸市の大会、県の大会を問わずトップにたつたのです。高3では、県高校総体2位、近畿高校総体9位となり、惜しくも全国総体には、今一歩手が届きませんでした。この結果に関しては、指導者である、私の選手に対する調整ミスだと思っています。近畿大会前に、気持ち全国大会にいったことが大きな原因でしょう。

同じようなチャンスがこの次来た時は、必ずそのチャンスを活かすための教訓になりました。恒藤さんの三年間の記録を辿ってみると、高1では、1m55cm、高2では、1m63cm、高3では、1m67cmというように、順調に伸び、中学時のベストより10cm伸び、自分の身長もこえ、走高跳という種目で、3年間でこれだけ記録を伸ばせたのは、大変立派だと思ふ。また、それだけよく努力した結果です。1m67cmという記録は、兵庫県で高校生では、1cmちがいで2位、一般では、社会人、大学生を含めて、3位という結果です。

彼女は、高2の時に、読売新聞のホープさんという欄に記載してもらったことでもあります。そして、卒業した今、アシックスに勤務しております。

このように創部されてから十年たった今、すばらしい逸材を啓明で育てることが出来たことを、クラブの先輩方にお礼を言うと共に、是非今後も、他校に負けぬような良き逸材ある選手を募集したいと大きく、学校にお願いすると同時に、同窓生の皆様に啓明の生徒も頑張っていることを知っていただきたくここに紹介させていただきます。

(バドミントン部) 顧問 田中聖憲先生

昭和五十年部員十名による愛好会として発足し、五十四年に同好会に昇格、五十八年に部として認められた。

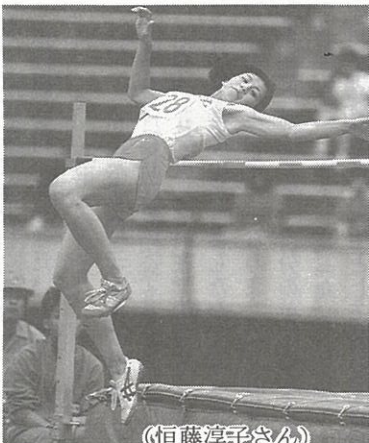
旧校舎時代は、同好会として他校との練習試合に頑張ってきたが部員の練習については、校内の施設において十分とはいえず校外の施設を利用した状況であった。しかし先輩は、この中で同好会といえども練習に練習を積み重ねてきた。

公式試合は、日頃の鍛えた闘志をもって試合に全力を尽くして戦ったが十分な成果は得られなかった。試合が終わるたびに反省を繰り返して、お互い心の中を出して話し合い次の試合に望みをもたせた。またそこには部員同志の美しい人間関係が絶えず培われていたことは顧問として大変心強く感じていました。この調和のとれた部員こそ何よりも大切なことだと思ひます。

新校舎移転と共に完備した施設で部員も次第に増加し、練習について充実した体力づくり、また試合についての実践練習はこと欠かず伸び伸びとできるようになった。その結果公式試合においても成績が少しずつ向上してきた。結果と共に部員の技術も大きく向上し、六十一年の個人戦ダブルスで県大会に初出場した。

現在はコーチ(峰松先生)の指導を受け、先輩の後を継ぐよう日々練習に魂を入れ、努力に努力を重ねた結果、今年5月の総体神戸地区大会団体戦で3位入賞で一つの目標を達成した。また個人戦においても、過去3年ダブルス、シングルで、3位、ベスト8、ベスト16に入り県大会に出場するに至った。

今後は部員一人一人の技術だけでなく精神面で大きく向上することを期待したい。また目標を高くもち、県大会上位を目指して一生懸命頑張っていきたいと思っています。



(恒藤淳子さん)

(剣道部)

顧問 藤本良宏先生

部員は二十二名おり、その中で二段を有する者が六名います。活動内容は昨年九月から、六段を有する洲脇力監督のもとで、男子顔負けの厳しい練習をしてきている。成果も着実に表れており、市内大会において勝ち進んで、赤穂での県大会でも三回戦まで行き、あと一歩で近畿大会出場権を獲得できるところであった。本校には武道場がなく、体育館で、週にたった三回しか練習ができないハンディを背負いながら、ここまで部員を指導していただいた洲脇監督に心からお礼をいいたい。最後にプレハブでもいいから剣道場があって、週に六回練習できるならば、神戸に啓明ありと、剣道において言われるようになることは間違いないであろう。

パン・洋菓子&喫茶

マルキーズ
キムラヤ

本店
神戸市須磨区蓮宮通2丁目5
TEL 691-0880 (代)

同窓生だより

読書会で若返り

七回生 E・T

同窓のなかまうちが環境的に少しは余裕が出来たところで、卒業して三十年後に再び遊びや勉強が共に出来ればという大人のロマンからスタートした読書会は、二ヶ月に一度のペースで五年がかりで三十回を迎えました。

高三の担任が島先生であられたという好条件のもとに、現役職で多忙中にも拘らず大いなる協力をいただいております。エイリッヒ・フロム「愛するということ」等現代文から、目下人生の根本問題から遊びの心までの日本人の心のありようを如実に写しだした古典に魅了され、二年半がかりで昨年「徒然草」を読破しました。現在は「更級日記」に取り組んでいます。家庭の事情という難問題をそれぞれ背負っていますが「続ける事に意義あり」と人生の終焉にむかって、いつまでも若々しく楽しく過したく、近々「源氏物語」にとりかかるつもりです。

新メンバー大歓迎です。



(島先生を囲んで)

第十五回生クラス会

鍵政 和子(旧姓 矢野尾)

服部さんがドイツより帰国され、中尾さん、西村さん達と逢おうという輪が広がり、昭和六十二年三月に約二十七年ぶりに中等部時代の同窓会が始まり、昭和六十六年三月、平成元年五月と三回行われました。



(第十五回生クラス会)

今年はなつかしい中等部時代の学校の近くの県民会館で十九人が集まりました。毎年メンバーに少し変更がありますが、北は東京、南は広島から出席して下さい約五、六時間あまりおしゃべりに花を咲かせています。

来年は熱海で一泊旅行の予定です。わずか三年の間でもいろいろな出来事がありました。可能な限りこの会を続けていきたいと思っています。

私の信仰とボランティア

十回生 小林 訓子(旧姓 堀)

今の私の一週間の生活は、教会での礼拝に始まります。啓明のチャペルでの礼拝でキリスト教をはじめ、主イエス・キリストへの信仰は私の大きな力です。私は、その事においてだけでも、啓明に学んで良かったと、今も心から思います。また、三年程前から、有償ボランティアの制度を取り入れている団体で老人介助のボランティアをしています。してあげるのでなく、いづれ自分にも必ずやって来る老いを学ばせていただく、又とないチャンスだと考えています。啓明を卒業して三十一、二年、オバタリアンと言われる事に少しばかり憤慨しながらも、年には勝てないなあと思う今日この頃です。

久しぶりの日本

十五回生 ボルツァー 服部クニ子

十八年ぶりに日本生活を始めて早五年半過ぎてしまいました。六年余前には、又日本で生活する事は考えもしませんでした。それ程帰国する迄住んでいたドイツのミュンヘン市と私の相性が合っていた

た様です。そこには十年間住んでおりました。夫の東京転勤が決まった時は、まず神戸に住めない事から、夫に単身赴任を勧めた有様で、東京を外国の様な感じに受け止めていました。けれども、神戸も東京も日本国内、自分の故郷を自分で直接見て、聞いて、触れて感じる事の出来るチャンスと考えて、東京へやってきたわけです。一九六六年夏にアメリカの大学へ入学する為、日本を離れる迄神戸以外に住んだ事がなかったのです。帰国当時はまるで外国人の様で、見るもの、聞くもの、何でもなつかしいのです。浦島太郎の話を思い出してしまいました。そして又、「それにしても日本語が上手です。」「何となく言われてしっくりくる感じがした。」「でも今は大丈夫。」「息子共々東京生活を大いにエンジョイしております。後二年程で又ドイツに帰る予定なのですが、ますます満喫、充実した日本生活を送りたいと思っています。

私の近況

二十三回生 吉松紀代子(旧姓 畑)

卒業以来十八年、今にして思えば、あつという間三十三歳にして、妻・主婦・母親それぞれの顔で、がんばっています。夫の健康状態・子供の勉強と心配事は沢山あつても根がのびやかな性格、どうにかなるさ、と落ち着いていいます。悩み事があつても、誰もそうは見えてくれない位いつまでも若いのです。一男二女を授かって、一家五人、皆、ちよつと太めでダイエットが必要ですが、色々な方法が耳に入りますがこれが絶対というのがある、教えて下さい。

母校でテニスがしたい

二十五回生 岸田 幸子(旧姓 松田)

この間、高校を卒業したように思うのに結婚してもう十三年目……本当に月日のたつのは早いものです。子供は八年目にしてやつと授かった一人息子……この春から幼稚園に通うようになりそうです。

子供がいない時は夫婦二人で気ままな生活……子供ができたとなん団地のおしゃべり奥様の仲間入りと、平凡な毎日を送っています。家から割合近くにある啓明……モダンな校舎……ロマンチックな建物……広い

コートでテニスしたいなあなんて学校の前を通るたびに夢に見ている私です。

女性市議員として

十九回生 田村とし子(旧姓 清水)

同窓生の皆様お元気でお過ごしですか。永い間ご無沙汰しております。思い出し見れば礼拝で始まる学習、聖歌隊の猛練習、厳しい礼儀作法等、私が得た事は数多くありました。私はいま、市議員であつた父の意志をついで、自分でも思いもしなかつた社会に飛び込んでしまつて悪戦苦闘しています。一日が三十六時間も四十八時間もあつてほしいと思ふ事がよくあり、世の中によくもこれだけいろいろな問題があるのだと感心させられたり勉強させられたりする事が山積してあります。昔亡父が長時間考え込んでいた姿が今の自分の姿みたいに見える事もあります。我が家には、高二の長男、中三の次男、迷い込んで来た猫、結婚して十七年になる夫がいます。連中がだらしないゴロゴロしている中で、女性が今出来ることは何か？ 豊かな社会とは……と考える毎日です。

母校での実習

三十八回生 藤原 珠祐

現在、大阪体育大学 四回生に在学中です。ハンドボール部の主将をさせていだいてます。今春、大学が移転しましたので、まだまだ落ち着いていませんが、公私共がんばっています。

六月一日(二十一日)まで母校啓明女学院で、保健体育科で教育実習をさせて頂きました。今までの生徒という立場から先生という立場に多少ドキドキしながら教える難しさを学びました。この経験を活かして、今後共がんばりたいと思っています。

三十八回生 中川 理恵

(親和女子大学文学部英文学科)現在、親和女子大学文学部英文学科に在籍しています。平成元年六月一日から二週間教育実習生としてお世話になり、とても驚いたことは、私たちの在校中よりも学級数がふえたことです。又、実習を通して得たことは、生徒に教授する際に、口ごもつ

たりする生徒や、わからない生徒がいた場合、生徒が何を理解していないのか逸早く察知し、様々な工夫をして教授しなければならぬということでした。これからは、実習期間中諸先生方が指導して下さいたことを基礎とし努力していきたいと思っています。

三十八回生 岩本 美佐

(親和女子大学文学部英文学科)現在、親和女子大学文学部英文学科に在学中です。私は実習期間を通じて、「人にものごとを教える難しさ」を痛感いたしました。自分の頭の中では、理解されているはずの事で、いざ人に伝えようとすると、なかなか流暢に口から出てこないで、もどかしさを感じることが、多々ありました。しかし、現場で働いていられる先生と同じ教壇に立つことができた自分を幸福に思い、この経験を将来活かしたいと思っています。

三十七回生 黒田 恵

(神戸市外国大学II部英米学科)現在、II部英米学科に在学中です。他人より若干長くかかりましたが、ようやく卒業見込みの学年となりました。昨年は英語劇に参加して、自分の英語力がまだまだ不足だと痛感しました。

今年度の教育実習生として高二の英語を担当させていただきました。思えば、ちょうど自分が高二の頃、教師を目指し始めたのが思い出されます。しかし現実には厳しいものです。教えることって本当に難しいものですね。

啓明周辺に史跡・名所あり

母校の新社舎は「須磨アルプス」と呼ばれている梅尾山と横尾山を背にしています。同窓生の皆さんはこの界隈を御存知だろうか。

高倉台の歩道橋を渡った所に梅尾山の頂上への階段がそびえている。この階段を登りながら登ると「須磨ニュータウン」が一望出来る頂上に着く。この山の尾根づたいに歩くと須磨の最高峰、海拔三三〇メートルの横尾山へと続いていく。横尾山は花崗岩が風化した岩が、ロックガーデンとなっていて、近郊の登山愛好者の人気のルートとなっている。途中から須磨離宮方面や三木街道に下山する幾つかのルートに別れている。三木街道方面に

下山すると、重要文化財の毘沙門天がある「妙法寺」、那須の与市が須磨浦の源平合戦の際、戦勝を祈願したと言われ、珍しく北を向いている「北向八幡」又この地で病死した与市のお墓のある「猿楽の翁能」で有名な「車大蔵神社」等がある。母校に近い所に、この様な史跡が点在しているのである。

又、この横尾山の麓、丁度母校のテニスコートの向かい側に、あまり水量は多くはないが湧き水が流れ出ている。保健所の話では、この水は一応飲料水としての基準を満たしているとの事で、口コミで愛飲者がだんだん増えて、今や須磨の新名所になりつつある。この水で沸かしたコーヒーやお茶は一段とおいしく何十分も順番を待つて飲んで帰る値打ちは十分にあるとか……同窓生の皆さん、一度、母校を中心に、この界隈を探索されてはいかがだろうか。

ビッグな旅の夢を、ムリのない計画で。

旅行券分割前払いシステム



すてきな時間のすごし方 お手つだいさせていただきます。

お申し込み、お問い合わせはお電話で



神戸支店 神戸修学旅行センター
〒650 神戸市中央区加納町1丁目4番17号(日本生命三宮ビル)
電話(078)331-7461

国内旅行

トッポツア

海外旅行

TOP TOUR

MEMORY

題字「金星」は、第一回卒業生、副理事長勝部美智子氏による。